



Rotary 国際ロータリー
第2620地区

御殿場
ロータリークラブ

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>


御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2837回 例会プログラム

- 例会 会場／名鉄菜館 ●開会 点 鐘／12:30
- ロータリーソング／我らの生業
- 内 容／
御殿場市立図書館「ほんてらす」について
御殿場市立図書館 ほんてらす 館長 河野 傑様

会 員 慶 事

- 夫人誕生日／若林洋平君 ご夫人 雅美様
神谷高義君 ご夫人 和子様
- 結婚記念日／豊山 篤君 佳子様 ご夫妻
勝又 淳君 暢子様 ご夫妻

会 長 挨 拶

渡 辺 修 司



セコさとは

ここところ、毎週毎月のように全国各地で災害が起きていて、会長挨拶のたびにお見舞いの言葉を言っている気がします。先週は、北陸・福井で豪雨による甚大な被害が発生し、まるで少し前の千葉の再現動画を見ているようでびっくりしました。福井の方々には心よりお見舞い申し上げたいと思います。このように今は、全国どこでこのような災害に遭うか全く予測ができません。皆さんも他人事ではなく、事前の準備を怠らないようにしていただきたいと思います。

さて話は全く変わりますが、本日はゴルフとセコさについて話します。国内のゴルフ人口は増加傾向にあり2024年の推計人口は891万人（男性732万人・女性159万人）だそうです。年代別では、シニア層（60～70代）が全体の約半数を占める一方で、近年は20代～30代の若年層も増えています。

本日はこの一番ボリュームのあるシニア層のおじさん、見方によってはおじいさんゴルファーの話を少し。かくいう自分も含まれていますが。

以前、そこそこゴルフをやる20代から40代の女子のトーク番組を見ていたら、ゴルフ場で“セコさ”が目につくおじさんの話をしていました。その年代でゴルフを楽しんでいる方々ですから、もちろん健康でお金にも不自由しておらず、ゴルフ歴も長い。言動にも余裕がある。それなのにプレーが始まるとたんに急に細かくなるというか、“セコさ”が顔を出してくるそうです。例えば、自分のOBボールには粘るのに人のボールには厳密とか、ニギリは細かいのに、不利になると急に態度が変わる。

キャディーさんに残り距離を聞いて乗らなかったら不機嫌になるなど、結構あるあるなことを言っていました。

確かに、ミスは運。成功は実力。人のミスは蜜の味。って方たまにいますよね。ゴルフは本来、余白のある遊び。ミスを含めて楽しむ時間だと思うので、ナイスショットした時よりミスショットした時。勝った時より思い通りにならない時。そこでどんな言葉を使うか、どんな振る舞いをするか。で、深みというか人間力が見えて来るのではないかと思います。

このおじさん（おじいさん）余裕あるなあと思われるような振る舞いを心掛けたいものです。

9/3の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
53名	49名	43名	87.76%	100%

欠席者（6名） 勝又 厚君 勝又 淳君 中島卓也君
長田富夫君 関根伸也君 高橋隆造君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

9/3のスマイル

ビッグ
スマイル

・9月1日で68才になりました。同日25年勤めた社長から会長になりました。後任の社長には皆様がある意味よく知っている下田になります。これからもよろしくお願いします。湊谷 一君

ビッグ
スマイル

・先週は喜寿のお祝いありがとうございました。大切にに使わせていただきます。小早川豊一君

CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能なインパクトを
生み出そう

次 回
9月17日の
例 会

★東山荘記念館
★18:00
★新会員卓話 小栗幹一君

ロータリーの友 月間に因んで

ロータリーの友 地区代表委員
小原 秀 樹様 (長泉RC)



ロータリークラブの会員活動の根幹をなすものとして、一般的に「三大義務」と呼ばれる規定が存在します。

ロータリアンの三大義務とは「例会への出席」「会費の納入」「機関誌の購読」です。

「例会への出席」につきましては、例会に出席することにより会員同士の親睦を深め、奉仕活動について協議する機会としてくださいということです。

「会費の納入」につきましては、入会金ならびに年会費を納めることです。

特に年会費につきましては会員が活動を継続するために必要となる費用となります。

「機関誌の購読」につきましては、ロータリークラブ会員はロータリーの公式地域雑誌を購読する義務があるのですが、日本のロータリークラブでは、主に「ロータリーの友」がこれに該当します。

この義務は、世界中のロータリークラブの活動状況や奉仕プロジェクトの事例、ロータリーの理念に関する情報などを会員間で共有して、知識や見識を深めることを目的としています。

この三大義務のひとつ「機関誌の購読」の「ロータリーの友」についてお話しします。

1952-53年度を迎える1952年(昭和27年)7月に日本の地区は東日本と西日本の2地区に分割することが決定されていました。

1952年(昭和27年)4月の第60地区の大会にていくつかの問題が話し合われましたが、その一つに日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。

これまで共に活動してきた日本のロータリアンが分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されました。

1952年(昭和27年)8月16日岐阜市の長良川河畔に

あった大竹旅館での会合において、この雑誌の色々なことが決められました。

会合で決められたことは毎月発行すること、価格を50円とするが広告を取って100円分の内容とすること、横書きにすること、名前を「ロータリーの友」などです。

こうして1953年(昭和28年)1月に創刊号が発行されました。

当初横書きでスタートした「ロータリーの友」ですが、俳壇や歌壇など横書きでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。

1972年(昭和47年)1月号から縦書き、横書きを分けてそれぞれに表紙をつけました。

左に開くと横書きのページ、右に開くと縦書きのページという形の雑誌になりました。

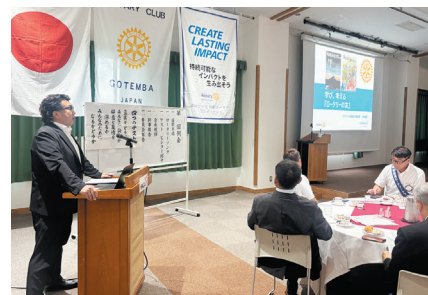
「ロータリーの友」は、国際ロータリー(RI)の認可を受け、Rotary Global Media Network(RI世界本部発行の『Rotary』とロータリーの地域雑誌の総称)の一員として発行されている日本におけるロータリーの機関誌です。

Rotary Global Media Networkの基準として、RIの指定記事を掲載、RIの方針を伝える、年6回以上発行して各号24ページ以上であること、50%以上がロータリー関連記事であること、印刷版と電子版を選択できること、RIの資金に頼らず運営することなどがあります。

アメリカの国際ロータリー(RI)世界本部で編集・発行しているRIの機関雑誌『Rotary』に加え、RIに認可された地域雑誌が機関雑誌として定義されています。

これらの雑誌は全世界に30誌以上あり「ロータリーの友」もその一員です。

「ロータリーの友」は、ロータリアンがロータリーライフを深めるため、そしてクラブがRIとのつながりを実感するためにも必要な媒体です。是非とも皆さま「ロータリーの友」をご活用ください。



8/20のメーキャップ

8月20日 日本ロータリー 小栗幹一君

8月22日 富士山一斉清掃 田代明人君

8月27日 クラブ運営委員会 勝亦敦志君



司 会
小栗幹一君



ソングリーダー
永木栄太君



出席報告
永田美奈幸君



謝 礼

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長○渡辺 修司
幹 事○勝又 安彦
会報委員長○嶋田 康一